

パクパク通信

平成23年6月9日
多摩市立豊ヶ丘小学校
学校長 小林 佳世
栄養教諭 早乙女 理恵
No. 6

5月28日の学校公開日2校時目に、2年生の生活科の授業を学年合同で行いました。題材は「野菜について・給食を残さず食べよう」です。

2組の根岸先生が給食の調理員に扮し登場すると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。手には大きなヘラ（しゃもじ）とひしゃく（おたま）を持っています。格好もさることながら、この大きな器具に興味津々。根岸先生は白い帽子、マスク、長白衣、白長ズボン、白い靴、白いビニールエプロン、ビニール手袋・・・という出で立ちです。「とっても暑いし、重たいよ。ほら眼鏡も曇ってきたし、手袋のなかにも水滴がついてきたよ」とおっしゃいました。

豊ヶ丘小の給食を作っている南野調理所は、毎日5500人分の給食を30人くらいの調理員で作っています。毎日こんな格好で大きな道具を使って給食を作っていること、暑い日も寒い日も頑張っていること、そしてみんなが食べている野菜は、多摩市の農家の方が一生懸命に育てたものも使っていること、給食を教室近くまで運んでくれる配膳員の存在などを学習しました。多摩市に残っている畑や給食センターの様子を、パワーポイントで見ることで子供たちにも印象が強く残ったようです。最後は大きなヘラとひしゃくを持ってみました。



きゅうしょくはふつうにできると思っていたけど、こんなにがんばってたとはぜんぜん思っていませんでした。

いつもおいしいきゅうしょくをありがとうございます。大きいおなべでたくさんつくるのをがんばってください。

きゅうしょくセンターは広くてびっくりした。きゅうしょくをしっかりと食べようと思った。

大きいおたまみたいのはおもたかったです。これからきゅうしょくをのこさずたべます。

ちょうりいんさんへ
わたしはきゅうしょくをのこしたことはありません。ちょうりいんさんは、がんばってるところを見ました。これからもおいしいきゅうしょくをつくってください。

いつもおいしいきゅうしょくをつくってくれて、ありがとうございます。のこさずたべるようにがんばります。

あんなでっかいしゃもじとかおたまをつかっていたなんてしりませんでした。ふく、あつそうでした。しゅるいごとにエプロンをわけているのがしらなかったです。